

(2) 学習基本態度の徹底

学習時における一般的な態度について、各教師が共通理解にたち、授業内容以外のことで、子どもに抵抗を与えないようにすることである。そのため学習態度の基本様式とか、発表・話し

合いの訓練とかを一定にし、各教師のじゅうぶんな理解をはかっておくとともに、子どもに徹底させておく必要がある。

次にその一例をあげることにする。

第9表 学習一般態度の基本様式

	内 容	訓練中心学年					
		1	2	3	4	5	6
形 式 的	1 始業と終業のあいさつは、立って「おはようございます」「さようなら」とあいさつをする。	○					
	2 中間の授業の始めと終りは、席についたままで会釈をする。	○					
	3 話しや説明は、終りまで注意しながら聞けるようにする。	○					
	4 わからないときは、もう一度聞きかえすことのできるようにする。	○					
	5 多くの人の中でも、自分の考えたことを言えるようにする。	○					
	6 グループで話すときは小さい声、全員で話すときは大きな声できるように区別ができる。		○				
	7 返事は、「ハイ」とはっきりする。	○					
	8 意志表示をするときは、「ハイ」を一回して右手をあげる。	○					
	9 自分のもの、他人のもの、学校のものとの区別がはっきりでき、たいせつにすることができる。	○					
実 質 的	10 仕事は、途中でやめないで終りまでしっかりやる。	○					
	11 自分のことをしっかりしてから、他人のせわをする。	○					
	12 他人の失敗を笑わない。	○					
	13 むだ口はきかないようにする。	○					
	14 用のないときは、常に自分の席についているようにする。	○					
15 「いす」には、じゅうぶん腰をおろし、正しい姿勢をとれるようにする。	○						
質 的	16 ノートはやぶらないようにし、なるべく「けしゴム」は使わないようにする。			○			
	17 物のかしかりはしないようにする。やむを得ないときは、休けい時にする。		○				
	18 次の時間の準備をしてから遊ぶ。	○					
	19 用便や手洗いは、休けい時にすませておくようにする。	○					
	20 学習用具をたいせつにする。	○					
	21 学習用具を忘れずに持ってくるようにする。	○					